

パソコンの自作とプログラミングの楽しみ

野澤 恵（茨城大学理学部）

「パソコンを買いたいけど、どこのメーカーが良いのだろうか？」という質問を良く聞かれます。それは非常に答えにくい質問です。というのも、メーカー製のパソコンを買うより、もっと面白いものがあるからです。

それは「自作パソコン」です。最近のパソコンは公開された規格で作成されているため、ケースやCPUなどを別々に購入し、まるでプラモデルでも組み立てるように、パソコンを作ることができます。こうした自作パソコンは少しずつではありますが、じわじわと一般にも広がっています。

ただ、このパソコンの製作は、生涯学習に取っては手段の一つでしかありません。そこで到達目標として、パソコンで楽しむプログラミングを掲げます。

一般に購入するパソコンにはOSとしてMicrosoft社のWindowsが搭載されています。しかし、プログラミングのために専用の言語キットを購入しないと使うことができないので、プログラミングはあまり一般的ではありません。

そこで、このプロジェクトでは、最近流行のFree PC-UNIXの一種のLinux(リナックス)のインストールを行ないます。このLinuxはインストールするだけで、C、FORTRAN等のプログラム言語が無料で使え、その日のうちにプログラミングを行なうことができます。

研究計画の概要としては以下のようなものです。現在まで申請者の野澤が中心になって、KKLUM(北関東Linuxユーザーズミーティング)を7回ほど行ってきました。このあつまりでは、出席するメンバーがパソコンを持ち寄り、上記のLinuxをインストールし、パソコンをいかに使いこなすかを話し合っています。そこで、このミーティングを元に、生涯学習の公開講座にできないかという点を調べています(研究補助費はパソコンの部品や資料購入に当てます)。

以上、「パソコンは買ったが、使えないのでホコリをかぶっている」状態にならないように、パソコンを用いたプログラミングを通して、生涯学習の研究プロジェクトを考えています。

以下は「Linux Conference '99」が1999年12月に行なわれ、その中の「コミュニティ大集合」に書いたKKLUMの資料です。詳しくは(<http://lc99.linux.or.jp/program.html#1218bof>)をご覧ください。

『All About KKLUG』

1 KKLUGとは

KKLUGという集まりを知っているひとは右手を上げてください。

ひい、ふう、みい…う～んちょっと少ないですね。分かりました、それでは今後各分野の偉

人を多く輩出するかもしれないKKLUGの紹介をさせていただきます。←まあ、あくまで仮定なので気にしないでください。

KKLUGは北関東Linuxユーザミーティング (KKLUM, Kita Kanto Linux User Meeting) から生れたユーザーズグループの略で、その名のとおり北関東を中心とするLinuxに興味のある紳士淑女の集まりです。ふーひとことで紹介が終了してしまいました。それではまた次回…と思いましたがページの余白が気になるので怒濤の私の半生に言及しつつKKLUGの概略、魅力について書きたいと思います。

2 現在までのKKLUG

茨城大学の野澤さんの呼びかけで始まったKKLUGは1998年4月19日の茨城大学構内での最初のミーティング以降計5回のミーティングを開催しました。2回目以降は約4ヵ月おきに行なわれています。while(meeting++, quarter++)とでも表現できるでしょう。開催場所は水戸市で行なわれてきました。2回目以降は水戸駅から徒歩5分という絶好の場所を借りて開催しております。

ミーティングの参加メンバーは10~20名で、老若男女様々な方が参加されております。まだ高校生以下が参加したことはありませんが(笑)。

ミーティング当日は朝10時ぐらいから始まり、昼食を挟み夕方5時ぐらいまで素敵なLinuxの世界を堪能できるというグレートでナイスな企画となっております。特に参加費などは設けていません。あえて金がかかるとすれば交通費とジュース、お菓子ぐらいだと思います。バナナはおやつに入らないので注意が必要です。

毎回ミーティング前にはMLを利用して各自やりたいことなどを募集したりしています。それをもとに必要機材を持ち込み皆でわいわいがやがや設定してみるやり方で、LinuxのFreeの精神を反映して(?)自由な雰囲気のあるミーティングとなっております。ミーティングが終わった後は有志による懇親会を行ないます。ここでは本当に様々な情報が飛び交います。また日頃疑問に思っていることでもここで質問すれば大概は答えてもらえるはずです。車で来ている人は酒を控えるので、交通手段を車にするか電車にするか悩むところです。

3 活動内容

今まで「Sun ワークステーションでのLinux活用」「ネットワーク共有」「NEC PC98へのLinuxいんすとーる」「SMPマシンのLinux設定」「パケット無線通信システム」「ダイヤルアップサーバとPPxP」等のテーマなどを中心にミーティングを開いてきました。3人集まれば文殊の知恵となら10人集まればイレギュラーな事が起きてもほとんど解決できます。またLinuxに関係する技術解説などもその分野に強い方にしていただくなどセミナー的な時間を設けることもあります。このとき1000カンデラを超えるプロジェクターが大活躍します。半日のミーティングですがあるときは一ヶ所に集まり、またあるときは皆ばらばらにLinuxをいじりと型式に縛られない気楽な集まりとなっておりますし、今後もある程度流動的なミーティングになるのではないのでしょうか?自作機を会場で作成してからLinuxをインストールしていくなどソフトだけではなくハードに関する内容で盛り上がることもあります。

それぞれの参加メンバーが愛機にインストールしたLinux環境を紹介しあうというのも醍醐味の一つとなっております。自分の利用したことのない環境・機器を見るのは非常に興味深く

「うおー、そんな設定があったのか」と発見させられることもしばしばあります。水戸市の大和さんのPocketBSDを入れたMobile Gear IIは一見の価値があると思います。辞書ソフトなど実用的に使用していたりするのを見て欲しくなります。他にもvmwareを利用してLinux上でのWindows 98を利用したりと楽しませてくれます。最近の傾向としては「人の数よりノートPCの数のほうが多い」ということが挙げられます。やはり時代の流れなのでしょう。

書くところが少なくなってきたので小生の自叙伝に関してはまたの機会に改めて書かせていただきます。KKLUGに興味を湧いてきた方は<http://www.env.sci.ibaraki.ac.jp/snozawa/linux/kklum/>にアクセスしてみてください。KKLUGのMLの紹介、参加方法、現在までのミーティングの画像などがあります。Linuxをこれから始めたい人からバリバリに開発している人まで幅広く参加を期待しています。

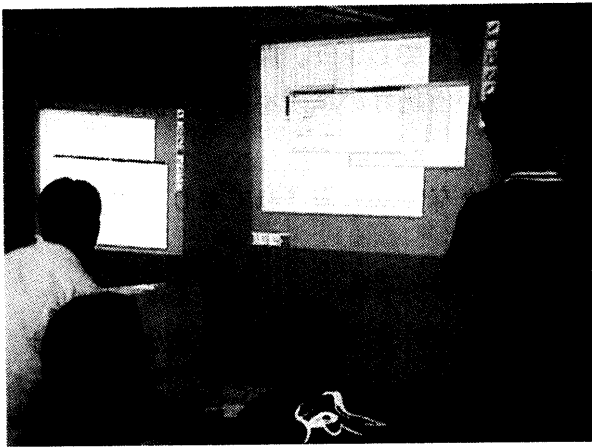


図 1 : KKLUM 第 5 回の写真その 1

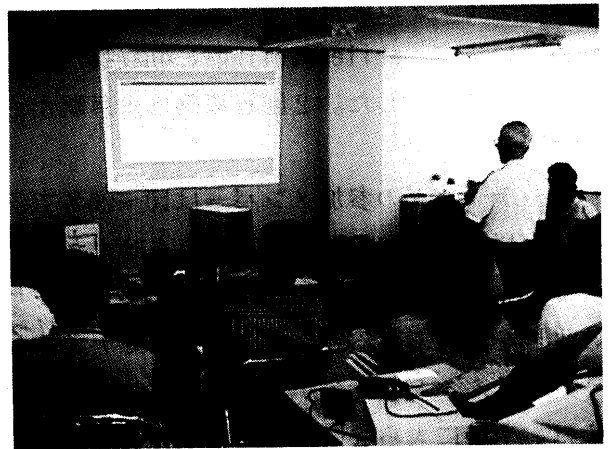


図 2 : KKLUM 第 5 回の写真その 2